

Q. どの学部でも留学に行けますか？

A. 制度上、学部による制限はありません。カリキュラムとの両立については、事前に指導教員の先生によく相談してください。

Q. 交換留学の学内選考の倍率はどれくらいですか？

A. 応募要領説明会にて直近1年間の採用率をお知らせしていますので、そこらを確認してください。

Q. 何年生でも留学に行けますか？

A. 交換留学・認定留学は最短で2年次の秋から行くことができます。休学留学は利用する留学エージェントや留学先大学のルールに従ってください。短期留学の場合は、プログラムによっては1年次の夏から参加可能です。

Q. 留学準備はどれくらい前に始めたら良いですか？

A. 交換留学の場合、学内選考が出発の約1年前に行われるため、情報収集や語学試験対策といった準備を1年半～2年程前に始めることをお勧めします。認定留学や休学留学の場合も、1年以上前には準備を始めると良いでしょう。

Q. 外国語は得意ではありません。留学に行っても大丈夫ですか？

A. 留学先大学によって語学要件が異なります。語学要件を満たしていれば、まずは自信をもってください。とはいえ、現地に行ってからのことを考えると、留学決定後も語学学習を継続することが大切です。

Q. 留学の種類や留学先がたくさんありすぎて、どれを選べばいいかわかりません。

A. まずは、なぜ留学に行きたいのかを具体的に考えてみましょう。そうすることで、目的を果たすために最適な期間や行き先が見えてきます。情報収集にあたっては、留学先大学のWebページや先輩たちの留学報告書などを活用してください。

留学 / FAQ

Q. 留学経験者からお話を聞いてみたいのですが？

A. 留学報告書の閲覧の他、留学経験者(NaSIP)によるイベントや留学ビギナーズフェアといった機会を利用すれば直接お話を聞くチャンスはたくさんあります！積極的に参加してください。

Q. 留学中はどんな住居に住むのですか？

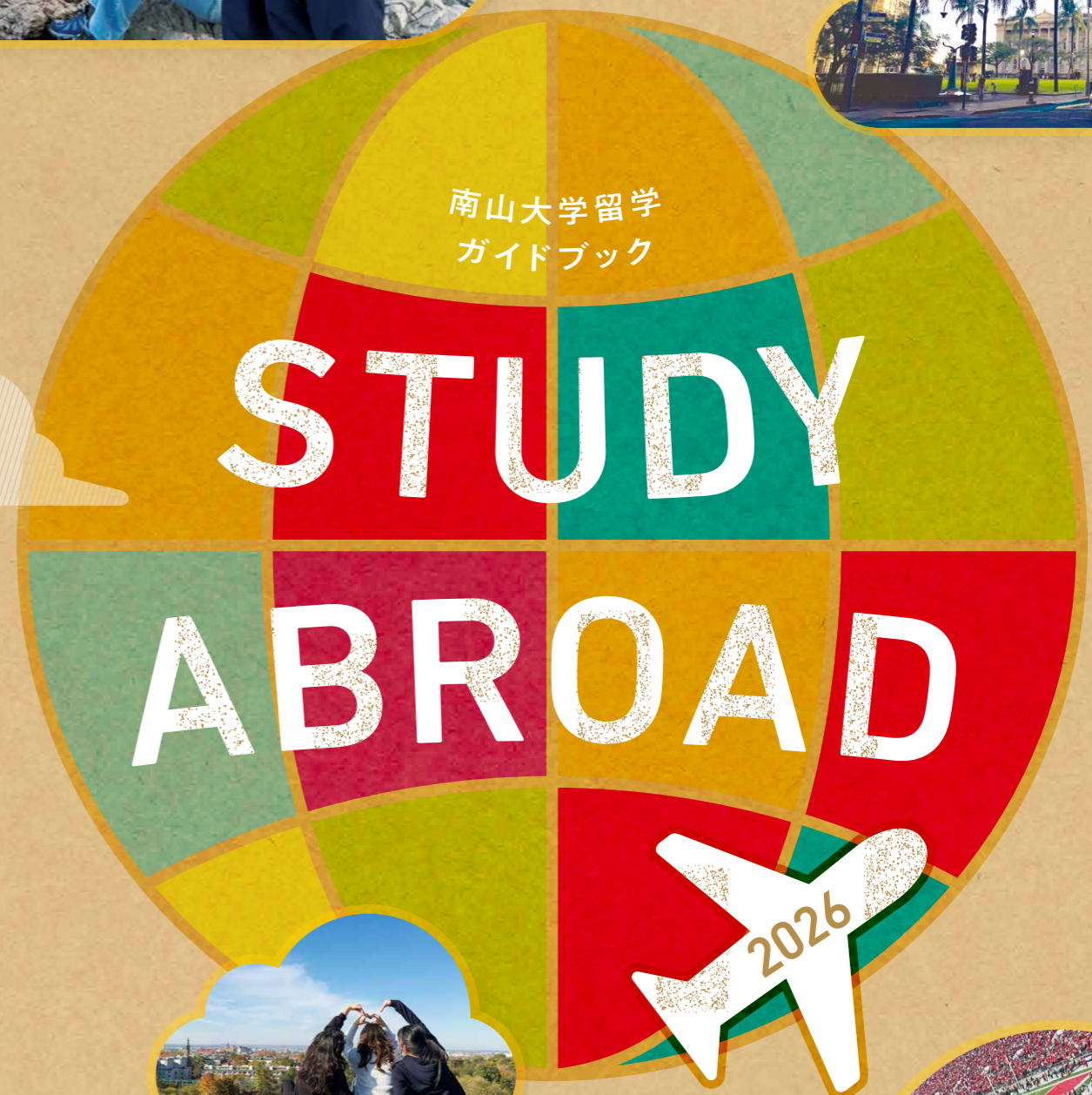
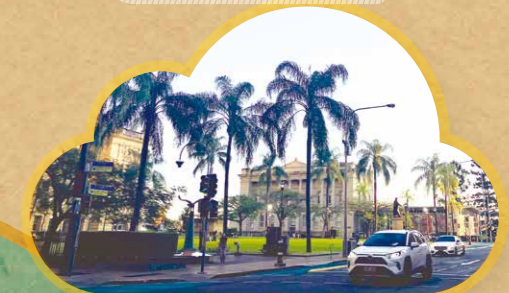
A. 留学先大学によって紹介される住居のタイプが異なります。学内・学外の寮やシェアハウス、ホームステイなどがあります。

Q. 留学が決まったら、国際センターからどんなサポートをしてもらえますか？

A. 交換留学の場合、留学前の情報提供や留学先大学への出願・やり取りなどのサポートをします。留学中については、交換留学・認定留学とも、トラブル発生時の相談対応や危機管理サービスを通じた安全管理などを行います。

Q. 留学と就職活動は両立可能ですか？

A. 留学と就職活動を両立した学生は多くいます。ただし、就職活動と留学時期が重なる場合、日本にいる学生とは異なる状況になります。事前にキャリア支援課などに相談し、情報収集をすることをお勧めします。



公式X @nanzan_intl

公式Instagram @nanzan_intl

国際センターWebページはこちら▶



南山大学

問い合わせ先

国際センター事務局 (R棟2階(地上階)) 052-832-3123
[派遣留学関連] study-abroad@nanzan-u.ac.jp
[その他国際交流全般] intl-office@nanzan-u.ac.jp

南山大学の中・長期留学プログラム



交換留学

留学先大学の授業料免除で協定校へ留学

特徴

南山大学と交換協定を結んでいる大学(協定校)との間で互いの学生を交換する留学制度。年に2回募集が行われ、学内選考を通過した学生が協定校またはコンソーシアム加盟大学へ留学します。

- 原則、現地学生と共に留学先大学の学部で専門科目を学びます*。
- 協定校のうち各自の希望した大学の中から留学先大学が決定します。コンソーシアム型交換留学の場合は、南山大学の協定校以外の大学へ留学します。
- 留学先大学で履修した単位を認定申請し認められることで4年間での卒業も可能です。
*協定校によっては語学留学を含む場合があります。

応募資格

- 正式認定の時点で南山大学に1年以上在学していること(2年次の秋派遣が入学後最も早いタイミングで出発可能な時期)
- 留学目的および留学計画が適切であること
- 学業成績および人物考課が優秀であり、通算GPAが2.0以上であること
- 十分な外国語の能力を有すること(留学先により条件が異なります)



学内選考

学業成績(GPA)や語学力に加え、書類審査等により選考されます。

留学費用

留学先大学の授業料は全額免除されます。(南山大学への授業料の納入のみ必要)その他、渡航費・保険料・宿舍費・食費などの費用が必要です。

期間

1年間(2学期)または1学期

認定留学

南山大学の派遣留学生として、希望の大学へ

特徴

- 世界中の大学の中から自分の希望する大学を選んで留学します。
- 留学先大学への出願や留学に関連する手続きは自分で行います。
- 留学先大学で履修した単位を認定申請し認められることで4年間での卒業も可能です。

申請条件

- 正式認定の時点で南山大学に1年以上在学していること(2年次の秋派遣が入学後最も早いタイミングで出発可能な時期)
- 各国で認可を受けた大学・大学院またはその付属語学学校への留学であること
- 留学先大学からの入学許可書を提出できること

学内選考

学内選考はありません。条件を満たし、所定の手続きを期日内に正しく行えば留学が可能です。

留学費用

留学先大学*及び南山大学への授業料はそれぞれ全額納入します。その他、渡航費・保険料・宿舍費・食費などの費用が必要です。

期間

3か月～2年間*
*留学期間が1年を超える場合はその期間に応じ、半年単位で卒業が延びます。



*参考:アメリカの公立4年制大学 2025-2026年度 1年あたりの平均授業料+各種手数料=約\$31,880 (出典:Trends in College Pricing and Student Aid 2025)

休学留学

大学を休学し、希望の留学を実現
留学先も留学期間*も自由にプランニングして
自分で手続きを進めます

*休学した期間に応じ、半年単位で卒業が延びます。

南山・ディズニープログラム

特徴

アメリカのフロリダ州にあるValencia Collegeが提供する授業を履修しながら、Walt Disney World Resort®でフルタイムの就業体験を行うプログラムです。年に2回(秋派遣・春派遣)*の募集が行われ、学内選考および学外選考に通過した学生がプログラムに参加します。*秋派遣は8月出発、春派遣は2月出発。

- 1年次から応募が可能です。(2年次の秋派遣が入学後最も早いタイミングで出発可能な時期)
- 就業体験は週30～37時間程度で、就業時間分の給与(時給/\$13～18)が支給されます。
- プログラム参加時は認定留学または休学留学の扱いとなり、希望する方を選択することが可能です。

選考

【学内選考】学業成績(通算GPA 2.0以上)、語学力(TOEIC 700点以上、TOEFL iBT 71点以上、IELTS 6.0以上のいずれかを満たすスコア)に加え、書類審査等により選考されます。
【学外選考】語学力確認試験、Walt Disney World Resort担当者との面接により選考されます。

留学費用

プログラム参加費(約60万円)、渡航費、保険料、宿舍費、食費などの費用が必要です。南山大学の授業料の取扱いは認定留学・休学留学でそれぞれ異なります。

期間

約5か月間

南山大学派遣留学奨学金 (交換留学および認定留学対象)

(1) 留学奨励奨学金(給付)	<交換留学>1学期あたり10万円	2024年度実績 96名
	<認定留学>1学期あたり15万円	
(2) 留学給付奨学金(給付)	一律30万円	2024年度実績 20名
(3) 留学貸与奨学金	30万円・50万円・100万円のいずれか	

*選考内容や費用については、変更となる可能性があります。



短期留学プログラム

長期留学の前に海外に慣れたい…という皆さんは、まずは短期留学から始めてみませんか？「科目」として単位付与の対象になるプログラムを多く準備しています。

夏
期
休
暇

全学部対象 短期留学プログラム 共通教育科目>実践知形成科目:2単位

オーストラリア サザンクロス大学

オーストラリアの自然や動物保護などに関する教材を使用し、英語によるコミュニケーション能力を伸ばすプログラムです。一方的に聞くだけではないインタラクティブな授業によって、楽しく英語を学ぶことができます。ビーチでのサーフィンや動物保護区の訪問など、授業に沿った内容かつオーストラリアならではのアクティビティも充実しています。また、ホームステイ先ではオーストラリアの実際の暮らしを体験することができます。



マルタ マルタ大学

マルタ唯一の国立大学であるマルタ大学の付属語学学校で、スピーキング能力を重点的に鍛えながら英語4技能を学ぶプログラムです。文法・語彙・発音などのサブスキルも併せて向上させることができます。プログラム中は、海外からの留学生や現地の学生が暮らす大学の学生寮に滞在します。マルタならではの歴史的建造物や美しいビーチ、ショッピングセンターにもバスで気軽に出かけられます。

ニュージーランド オークランド大学

ニュージーランドのオークランドにて、日常生活や仕事の場面で役に立つ英語を学ぶプログラムです。レベル別に分けられたクラスで、スピーキング・リスニング・リーディング・ライティングをバランスよく学習しながら、コミュニケーション能力を伸ばします。ホームステイ先でフレンドリーなホストファミリーと生活することで、ニュージーランドの文化を身近に感じられるとともに、実践的な英会話の練習もできます。



アメリカ ノースジョージア大学

留学前に現地学生とオンラインで協働学習し、グループワークやプレゼンテーション準備を進めて現地研修で発表する機会があります。事前に交流してから渡航するため、約2週間という短期研修でありながら初日から学生同士の活発な交流が始まり、学びが深まることも本プログラムの魅力です。現地の学生たちとたくさん交流したい人におすすめです。都会から離れ、自然に囲まれた、ゆったりとした環境で勉強することができます。



※プログラムの実施の有無や内容については、変更となる可能性があります。

学部別 短期留学プログラム 詳細は各学部事務室へお問い合わせください。

人文学部

人文学部異文化研修
短期留学プログラム

[ニュージーランド・マレーシア]



午前はレベル別に英語の「聞く・話す・読む・書く」の4技能を学び、午後には異文化体験プログラムに参加します。英語の運用能力だけでなく、異文化体験を通して、机上では得られない広い視野と行動力を獲得することを目指します。
※年度によって派遣先国の変更、不開講の場合があります。

経済学部

経済英語海外研修

[オーストラリア]



オーストラリア・クィーンズランド州の州都ブリスベンで、ホームステイをしながら、グリフィス(Griffith)大学付属語学学校で、4週間英語を集中的に学びます。午前はレベル別のクラスに分かれ、英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」を総合的に学習します。午後は自然環境保護策を考えるツアーや先住民の芸術文化を学ぶアクティビティに参加し、短期的・長期的な視点で経済のあり方を考えます。

法学部

海外法文化研修

[オーストラリア・カナダ・韓国]



午前は、レベル別のクラスで英語や韓国語の勉強をします。午後には、週2・3回、裁判所や国会の見学、特別講義など南山大生向けのプログラムに参加します。韓南大学では大学の学生寮に宿泊し、他では現地でホームステイをします。マコーリー大学では現地学生との交流プログラム、カルガリー大学では自然体験の小旅行といった、各大学の個性的なプログラムもあります。

総合政策学部

政策研修プログラム
海外研修プログラム

[アジア6か国・1地域]



アジアの国・地域での2~4週間のプログラムです(通称NAP)。研修先は、韓国(韓南大学)、中国(東華大学)、台湾(国立成功大学)、ベトナム(タンロン技術学院)、タイ(コーンケン大学)、マレーシア(マレーシア科学大学)、フィリピン(アテネオ・デ・マニラ大学)で、集中語学学習(それぞれの言語や英語)やフィールド調査学習を行います。また語学学習のみならず、現地の同世代との交流や文化体験等もプログラムに含まれます。
※年によって不開講または変更となる場合があります。

外国語学部

海外フィールドワーク

[アメリカ・イギリス・オーストラリア・
スペイン・メキシコ・コロンビア・
フランス・ドイツ・台湾・インドネシア]



外国語学部のすべての学科において、「海外フィールドワーク」を開講しています。それぞれの留学先に3~4週間滞在し、提携校で授業や各種プログラムに参加すると同時に、現地でフィールドワークを行います。外国での学びや生活をとらえて、異文化理解力と問題解決力を高め、帰国後の学びにつなげます。 ※年度によって、派遣先が変更される場合があります。

経営学部

ビジネス英語海外研修

[オーストラリア]



オーストラリアのブリスベン市にあるGriffith English Language Institute (GELI)による4週間のプログラム。ブリスベンにはオーストラリアで3番目に人口の多い都市でありながらも自然豊かな土地です。研修が行われる8月は過ごしやすい気候です。午前中は英語授業を受講し、午後にはビジネス関連の特別アクティビティや企業訪問などが予定されています。現地でホームステイをし、週末はホスト・ファミリーとともに過ごします。

理工学部

理工学海外研修

[アメリカ・マレーシア]



「理工学海外研修」では、理工系(STEM)分野で必要となる英語力と国際的な実践力を磨きます。英語コミュニケーションの基礎を学び、STEM分野に特化したワークショップ、現地の研究室や企業の訪問など、専門性を軸としたカリキュラムが特徴です。さらに、現地の学生と連携し、異文化交流を通じて多様性への理解を深めます。夏(8月~9月)はマレーシア、冬(2月~3月)はアメリカの地で、将来のキャリアの糧となる広い視野と行動力を育みます。

国際教養学部

ASU Sustainability Program

[アメリカ]



留学先はアメリカで最初に「School of Sustainability」を開設したアリゾナ州立大学(ASU)。2年次第2クォーターの約6週間、最先端のサステナビリティ・スタディーズを英語で学ぶのがこの留学の目的です。「卒業までに一度は海外で学びを深めよう!」をモットーとしている国際教養学部としては、長期留学予定者等を除いて、本プログラムに全員参加することを推奨しています。

※現在カリキュラム改正を予定しており、短期留学プログラムの内容も変更になる可能性があります。



学内でできる留学準備



ワールドプラザ

ワールドプラザは、自ら積極的に外国語を学びたいと思っている学生をサポートする施設です。一歩足を踏み入れれば、そこは外国語だけの世界。でも心配はいりません。ワールドプラザ・アシスタントと呼ばれる学生スタッフが優しく対応し、居心地の良い空間を演出してくれます。外国語の実践力をつけるには、言葉を実際に使うのが一番。まずは足を運んでみましょう！



多文化交流ラウンジ

多文化交流ラウンジ(愛称:Stella)は、外国人留学生を含めた南山生が自由に多文化交流できるスペースです。ラウンジでは学生スタッフ(NIA)のサポートのもと、学部・国籍などの壁を越えて交流できるほか、不定期で様々なイベントが開催されます。身近な多文化交流の場として、気軽に活用してください！



ジャパンプラザ

ジャパンプラザは、外国人留学生が日本語の勉強をしたり、会話の練習をしたりするためのスペースです。ジャパンプラザの中では、日本人学生も外国人留学生も、日本語だけを使います。日本語で留学生と交流してみたい方や、日本語を教えることに興味がある方にぴったりの場所です。



国際学生宿舎

国際学生宿舎では、留学生と共に暮らすことで、日常的に国際交流を行うことができます。中でもヤンセン国際寮は「生活の場」でありながら全入居者に教育プログラムを実施する「教育の場」でもあります。多様な価値観を尊重し合い、互いに学び合う中で国境を越えて活躍できる力を養います。



留学ビギナーズフェア

外国人留学生別科に在籍している留学生が、それぞれの母国や母校について日本人学生に紹介してくれるイベントです。南山大学の協定校を知るきっかけになるほか、各大学の特徴や、各国の生活スタイル・文化などについて、最新の情報を直接聞くことができる貴重な機会です。留学に興味のある方はもちろん留学生と交流してみたい方など、少しでも関心があれば、ぜひ気軽にご参加ください。

留学経験者によるイベント

留学促進プロジェクト「NaSIP」の交換留学経験者メンバーが中心となり、留学関連イベントを企画・開催しています。リアルな留学体験談を聞くことで、留学に対する不安や疑問が解消されたり、今やるべきことが見えてきたりします。イベントに積極的に参加して、より充実した留学を実現してください。



応募要領説明会

交換留学、認定留学、南山・ディズニープログラム、全学部対象短期留学プログラムへの応募受付に先立ち、各派遣時期や留学種別に対応した応募要領説明会動画が公開されます。これらの説明会では、応募方法や必要書類、応募～採用までの具体的なスケジュールなどの重要な情報が共有されます。動画はオンデマンド配信となっており、公開期間中であれば、各自の都合のよいタイミングで視聴していただくことが可能です。留学種別によっては説明会動画の視聴が応募の条件になっていますので、少しでも興味があるプログラムがあれば、まずは動画を視聴しましょう。それが、留学実現への第一歩です！

NU-COIL

COIL(Collaborative Online International Learning)とは、オンラインで海外大学とつながり、授業内外で協働学習をおこなう教育手法です。COIL型授業で行われる交流はビデオ会議でリアルタイムでつながるものから、SNSなどのコミュニケーションツールを活用して非同期で交流するもの、小グループに分かれて課題解決型のプロジェクトに取り組むものなど様々です。言語、文化の違いを超えて海外の大学生とバーチャルに交流し、多文化共生力、学際的国際力、問題発見・解決力を養います。

国際共修 Webページ



留学アドバイジング

学部1年生を対象に、留学準備や留学先の選び方、語学試験の勉強方法について、留学アドバイザーの先生に個別相談できる機会を設けています(完全事前予約制)。将来的に留学を考えている方だけでなく、計画がまだ具体的でない方も気軽に相談できます。ぜひご利用ください。

留学報告書

交換留学や認定留学を経験した先輩方が、これから留学を目指す方々のために作成してくれた報告書です。寮の探し方や住み心地、実際にかかった費用など、留学準備に役立つ情報が多数掲載されています。国際センター事務室やWebページ(在学生のみ)で閲覧が可能です。興味のある国・地域や大学の報告書を読み、留学のイメージをより具体的にしてみましょう。

外国語能力試験受験料補助制度

交換留学などを目指す学生を支援するため、対象の外国語能力試験を受験した学生に対し、受験料の一部を補助する制度です。通常は1回の受験につき10,000円を補助しますが、学部1年生が入学した年の4月～7月末までに受験し、その年の9月に申請した場合は、特別に最大25,000円まで補助します。申請時期は7月と1月、9月(1年生早期受験分のみ)で、在学中3回まで申請可能です。留学に必要なスコア達成には複数回の受験が必要になることもありますが、この制度を使えば受験料の負担を軽減できます。ぜひ有効に活用し、スコアアップに役立ててください！

学内での語学試験対策

- ・英語展開科目
「TOEIC」「TOEFL」「IELTS」などの語学試験対策や、翻訳・通訳等のスキルを学ぶ授業が開講されています。
- ・IELTS対策講座
自学自習では底上げが難しいライティング、スピーキングに重点を置き、ネイティブ講師による徹底指導のもとで集中的に学習します。
- ・TOEIC-IP
TOEIC-IPテストは、TOEICの「団体特別受験制度」です。

Hop, Step, and Jump to the World

段階的な学びの場を活用して、留学に向けて動き出しましょう！



まずは情報収集から

- 応募要領説明会の動画を視聴
- 留学アドバイジングの利用
- 留学経験者(NaSIP)によるイベントに参加
- 留学ビギナーズフェアで情報入手



留学生とコミュニケーションしよう

- 国際学生宿舎で留学生との共同生活
- COIL型授業(ベーシックCOIL)の受講
- ジャパンプラザで留学生の日本語学習サポート
- 多文化交流ラウンジで国籍・言語を超えた交流体験



外国語に慣れよう

- Language Buddyと交流
- ワールドプラザでバーチャル留学
- 国際センターの書籍やIELTS対策講座の活用
- 外国語能力試験の受験と受験料補助申請



いよいよ実践へ！

- 外国語で実施される科目の受講
- COIL型授業(アカデミックCOIL)の受講
- 短期留学プログラムへの参加



海外で経験を積み可能性を広げよう

中・長期留学



国際的なキャリアを形成しよう

- COIL型授業(PBL COIL)の受講
- NANZAN SPARKプログラムへの参加
- 海外インターンシップへの参加



留学経験者インタビュー



外国語学部英米学科4年
吉野 真由さん

交換留学先:
University of North Carolina at Chapel Hill (アメリカ)

実践的な語学力、国際的な視野を身に着けたかったこと、何か大きなチャレンジをしたかったことから交換留学を決意しました。現地の大学ではコミュニケーション、歴史や政治について学びました。留学当初は授業の内容が理解できず、議論にも全く参加できない悔しさを感じることも何度もありました。図書館に籠って勉強し予習復習を徹底したこと、教授や他の学生に相談に行き、フィードバックを貰い自身の弱みを改善したことで、だんだんと授業内容を理解し、議論にも自信をもって参加できるようになりました。このような困難を乗り越えることで、多角的視野を持って物事の理解を深めること、価値観の差異を超えて協働を行う大切さを学びました。留学の経験を通し多くの知見と成長を得たと感じています。



留学までのモデルケース



交換留学
例：秋から1年間(2学期)

憧れの交換留学！
現地の学部科目を受講できました！

Aさん

